

第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 総合開・閉会式会場選定について

審議事項 2

1 第 1 回総務企画専門委員会(H30.3.20)における総合開・閉会式会場に関する意見交換より

(1) レガシーの尊重

- ・ やまびこ国体は、松本平広域公園で行われ、レガシーとして様々なスポーツイベントが開催されるなど、県民、地域の方の生涯スポーツの振興に寄与している。

(2) 県有施設の活用及び陸上競技場での実施

- ・ 先催県では殆どが県有施設を使用しているので、県の施設中心に検討していく方向が良いと思う。
- ・ 陸上競技は会期が最後までである為、閉会式への参加という観点から陸上競技場を使う方向が良いと思う。

(3) 全国障害者スポーツ大会からの視点

- ・ 閉会式には全選手が参集することが条件であるため、競技会場地市町村から選手がスムーズに集まることができる場所を考えると、県の中心部が良いのではないかとと思う。
- ・ 国体と同様に陸上競技参加者数は多く、競技も最終日まで行われるため、身体・知的の障がい者の方の移動等を考えると、開・閉会式は陸上競技場で行われる方が良いのではないかとと思う。

2 第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 総合開・閉会式会場選定基本方針【抜粋】

国民体育大会と全国障害者スポーツ大会の主旨並びに開催基本方針に基づき、次の基準を考慮して総合的に判断し選定する。

- (1) 会場地となる市町村から開催に必要な協力が得られること。
- (2) 会場周辺に駐車場等の用地や仮設テント等の設置スペースが十分確保できること。
- (3) 多数の参集者が集まることができる輸送及び交通手段が確保できること。
- (4) 会場周辺に相当の宿泊受入れ能力があること。
- (5) 総合開・閉会式会場は、同一会場で行うことを原則とする。
- (6) 全国障害者スポーツ大会の開・閉会式会場は、国民体育大会（本大会）と同じ会場で行うことを原則とする。
〔平成 29 年(2017 年)12 月 20 日 第 1 回常任委員会決定〕

【参考】

I 日本スポーツ協会 国民体育大会施設基準

式典会場は、観客席が仮設スタンドを含み、約3万人収容できる施設

II 先催県における総合開・閉会式会場の現状

〔2010 年第 65 回(千葉県)大会～2025 年第 80 回(青森県)大会：16 都県〕

収容人員			会 場			施設所有者		
		%			%			%
3 万人以上	2	12.5	陸上競技場	14	87.5	県	14	87.5
2 万人以上～3 万人未満	9	56.2	サッカー場	1	6.25	市	2	12.5
2 万人未満	5	31.3	野球場(開会式)	1	6.25			
計	16	100	計	16	100	計	16	100

※ 第 65 回千葉国体開会式における野球場(千葉マリンスタジアム:千葉市所有)は【特例】。なお、閉会式は千葉市所有の陸上競技場

※ 第 68 回東京国体【味の素スタジアム(サッカー場)】以外は全て「第1種公認の陸上競技場」において開催

※ 第 65 回千葉国体【千葉マリン・陸上競技場:千葉市所有】、第 71 回岩手国体【北上市陸上競技場】以外は全て「(県(都)所有施設)で開催

※ 過去の実績を見ると収容人員については日スポ協の施設基準を満たしていない施設もあるが、弾力的運用として開催

III 総合開・閉会式会場に求められる周辺環境関連

- ・ 会場周辺には「選手団待機所、式典前演技者待機所などの他、駐車場、おもてなし広場、保安監察所諸室、大会本部」など約 65,000 m²の敷地が必要
- ・ 開会式には約 35,000 人(選手・監督、大会関係者、観覧者)の参加が見込まれることから、交通アクセスも重要な要素 (国体開催基準要項や同細則、先催県の開催状況を参考に作成)